



CONTENTS

- \* 仕事と介護の両立支援セミナー
- \* カモミール月曆

- \* ロールモデル講演会
- \* サイバ夢追い人育成プロジェクト
- \* 新年交流会

- \* 研究補助員配置制度
- \* 遊んで・食べて・劇をしよう!
- \* 保育園たより

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」

参加  
無料

## 仕事と介護の両立支援セミナー

### — 介護離職を防ぐために —

皆さんは親の介護について考えていらっしゃいますか？ 忙しい日々をお送りで、漠然とした不安だけが膨れ上がっている方が大部分なのではないでしょうか？ 本セミナーでは、介護離職を防ぐために、仕事と介護の両立に必要な知識および心構えについて理解し、いざという時に実践できるよう、皆さんと一緒に考えていこうと思います。現在介護中の方も、将来介護の担い手になる方も、また、身近に介護世代を多く抱える方なども、どうぞぜひご参加ください。

**日時：2018年1月15日（月）13:30 ~ 15:30**

**会場：岐阜大学 全学共通教育棟1階 アクティブ・ラーニング教室1B**

**講師：角田 とよ子 氏 株式会社w i w i w キャリアと介護の両立相談室長**

**対象：岐阜大学、岐阜薬科大学、岐阜女子大学、アピ株式会社の構成員**

### 内 容

1 講話「仕事と介護を両立させる秘訣」

- 無理のない介護をするために
- 介護は「家族で」から「サービス利用」へ
- 別居介護・遠距離看護を成功させる秘訣
- 緊急時に備えて

2 グループディスカッション

- 介護の5W2H、あなたが課題と思うこと
- 介護の5W2H、これから改善したいこと

★ 詳細・申し込み方法は、「清流の国 輝くギフジョ 支援プロジェクト」WEB <https://diversity.gifu-u.ac.jp/> をご覧ください。※参加人数把握のため、1月12日（金）までの事前申込にご協力をお願いします。お席に余裕があれば当日参加も歓迎します。



## カモミール月曆（室長からのメッセージ）



副学長（多様性人材活力推進担当） 林 正子

### 「新年あけましておめでとうございます」

#### ～ 年末年始の動向と取り組み紹介 ～

文部科学省が2018年度の組織改編において、「男女共同参画学習課」を解消し、新設する「共生社会学習推進課」に統合することを計画しているというニュースが飛び込んできたのは、昨年2017年10月のことでした。「生涯学習政策局」を「総合教育政策局」に改変するのにもない、「男女共同参画学習課」と、初等中等教育局で海外子女教育を担当してきた「国際教育課」などの業務を、新設する「共生社会学習推進課」に一元化するというものです。他にも「障害者学習支援推進室」「安全教育推進室」などを担うことになる「共生社会学習推進課」新設・再編の趣旨は、「学校教育と社会教育の縦割りを克服し、より横断的な教育行政を行うこと」（「AERA」2017年12月4日号）とされています。

しかしながら、このような文部科学省の動きに対して、多方面から反対の声が上がりました。「男女平等の社会が実現していない中で看板を下ろすのは尚早だ」と思う。名称が変わると、教育における男女共同参画の視点まで失われてしまうのではないかと心配だ」（お茶の水女子大学・室伏きみ子 学長）という談話や、「男女共同参画という看板が下げられればジェンダーの問題は見えづらく、扱いづらくなる。すでに男女共同参画の予算が減らされている地域もあり、人員や予算の確保、関連する学習講座を開くのが難しくなっています。今回の文科省の再編はこのような動きに拍車をかけるのではないかと心配です」（神奈川大学・入江直子 名誉教授）という意見が続々と出され、「男女共同参画学習課の存続を求める要望書」に向けての署名活動もおこなわれました。

随所から寄せられた多くの反対意見に配慮した結果、文部科学省は、新設する課の名称を「**男女共同参画・共生社会学習推進課**」とする方針を固めたことを発表しました（「毎日新聞」2017年12月20日）。単なる名称ではないか、と言うなかれ。**【男女共同参画は「共生社会」の一部ではなく全部（あらゆる事柄）に通じることを認識する必要があるのではないのでしょうか。**「男女共同参画学習課」の名称を廃止する案を撤回し、「**男女共同参画・共生社会学習推進課**」とした、今回の英断に大いに賛同している次第です。

さて、その「男女共同参画推進」の一環として、「**地域循環型女性研究者育成・支援**」に取り組む岐阜大学が、岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社と連携しておこなう**文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」**も、事業に選定されて2年半が経ちました。

2020年度までの事業期間の中仕切り（交付期間最終年度）にあたり、**これまでの成果と課題を振り返り、今後の活動に繋げる**ことを趣旨とするシンポジウムを下記のように開催することとなりました。女性の生き方を考えることは、当然ながら、男性の生き方を考えることに繋がります。性差、職掌、国籍、年齢などの属性を超えて、お一人でも多くの構成員の皆さんに本事業の成果と課題を共有していただきたく、ご参集のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

2018年の岐阜大学が、皆さんお一人おひとりにとられまして、「働きやすく学びやすい大学」となりますように――。

**日 時**： 2018年2月14日（水） 14：00～17：00

**会 場**： 岐阜大学 講堂

**基調講演**： 「女性の活躍と大学の役割 ―― 岐阜発の新しい文化に向けて」

**講 師**： 渥美 由喜 氏 内閣府地域働き方改革支援チーム委員（兼務 東レ経営研究所）

**女性活躍推進テーマ落語**： 桂鷹治（落語芸術協会二ツ目・岐阜大学地域科学部卒業生）

プログラムの詳細は、<https://diversity.gifu-u.ac.jp/> をご覧ください。







## ロールモデル講演会



12月1日（金）、講師に大阪府立大学の田間泰子教授を迎え、「『ずっと、いたい』と考える大学づくり—女性研究者の活躍支援はみんなのチャンス—」の演題でロールモデル講演会を開催しました。本講演会には、岐阜大学及び連携機関から学生、研究者、教職員ら36名が参加しました。最初に、自身の女性研究者としてのキャリアについてお話があり、聴講者は「たまたま」「まさか」の連続の人生の中でレジリエンス（回復力）を高め成長し、「人」との出会いを大切に、自らの意思と行動でキャリアを掴んでこられた講師の人生ストーリーに聞き入っていました。続いて、「女性研究者支援事業の取り組み」について、講師が大阪府立大学で取り組みを開始した当時のエピソードを交えて紹介がありました。最後に、「大学評価と教員業績評価」について、評価する側とされる側の信頼関係が重要であるとの解説がありました。参加者からは、「田間先生の歩んできた道のりに勇気づけられた」「他大学での取り組みを具体的に説明してもらい、とてもわかりやすかった」との声が寄せられました。



▲ 田間 泰子 氏

## サイエンス夢追い人育成プロジェクト



（女子大学院生による出前講義）

12月4日（月）と12月11日（月）に、岐山高等学校の理数科の2年生男女39名に向けて出前講義を実施しました。講師は、4日が竹内萌恵さん（自然科学技術研究科生命科学・化学専攻 修士1年）と板垣侑理恵さん（同研究科エネルギー工学専攻 修士1年）の2名、11日が後藤可南子さん（同研究科 生物生産環境科学専攻 修士1年）と仲村絵里香さん（同研究科 生命科学・化学専攻 修士1年）の2名です。えごまの研究をしている竹内さん、高潮の影響を研究している板垣さん、ハチノスツツリガという蛾とアカメガシワという植物の研究をしている後藤さん、母乳のMUC1ムチンの糖鎖構造の解明を研究している仲村さんら講師の女子大学院生は、それぞれの研究内容と進路選択を高校生に紹介しました。

また、12月15日（金）には、岐阜農林高校において、動物科学科2年生を対象に、後藤可南子さんが出前講義をおこないました。研究と進路、どちらの話も生徒さんたちは熱心に聞き入っていました。



▲ 竹内萌恵さん（岐山）



▲ 板垣侑理恵さん（岐山）



▲ 後藤可南子さん（岐山）



▲ 仲村絵里香さん（岐山）



▲ 後藤可南子さん（農林）

1月15日までに  
お申し込みください。

## カモミール・カフェ 新年交流会



普段は交流することの少ない、様々な学部・学年に属する学生と教職員との懇親会。今年度は「カモミール新年会」として開催します。入退場自由です。お申し込みの上、お気軽にご参加ください。

日 時：2018年1月18日（木）17：00～19：00 ★入退場自由  
場 所：カモミール・カフェ（大学会館2F 生協中央店前）  
対 象：教職員、大学院生、学部生



## 研究補助員配置制度

1/18まで  
受付中

詳細は  
WEBで

平成30年度第1期の配置期間  
平成30年4月1日～平成30年9月30日

この制度は、育児や介護等により研究時間の確保が困難な研究者を対象に、研究データ解析、学会発表資料作成、実験補助、文献調査、統計処理等の研究補助業務をおこなう研究補助員を配置し、育児等と研究との両立を支援する目的でおこなうものです。また次世代育成のために、研究支援者と被支援者双方のキャリア形成、キャリア復帰等のチャレンジ支援・再チャレンジ支援に寄与することも目的としています。

★育児や介護等をおこなう意思を持ち、申請資格条件を満たす男性研究者も利用することが可能です。

★妊娠中の体調不良や親族の体調の急変等のため、介護・看護の必要性から研究活動が困難となった方は、申請受付期間とは関係なく、いつでもご相談ください。

申請書類は、<https://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/activity/05.html> からダウンロードできます。

岐大生と一緒に

参加  
無料

## 遊んで・食べて・劇をしよう！



元気な幼児～小学生のお子さん大募集♪

募集定員  
16組

岐阜大学地域科学部の近藤真庸教授のもと、社会活動演習「地域の子育て支援」に参加している**21名の大学1年生**と一緒に、**リッツパーティー**、**劇「バイキンくんをやっつけよう！」**、**ゲーム**（釣りや輪投げなどでスタンプを集めて景品をゲット♪）、**野菜ハンコ制作**で楽しい時間を過ごしましょう！

日時：2月17日（土）13：15～15：30（13：00～受付）

場所：地域科学部 地101講義室

お父さんの参加大歓迎。兄弟姉妹、一緒にどうぞ！

申込方法：<shinyo118@yahoo.co.jp>宛、メールでお申し込みください。折り返し連絡します。

【主催】岐阜大学地域科学部 近藤真庸研究室 【後援】岐阜大学男女共同参画推進室



### ークリスマス会ー

保育園に  
サンタクロースが  
やってきた！

### 保育園たより

元気に踊りを披露して、お礼に大きなプレゼントをもらったよ。

サンタさん、ありがとう！  
園児たちはサンタさんに  
会えて大喜びでした！



岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係） URL：http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 TEL：058-293-3378 FAX：058-293-3396 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp

\*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。